



東証JASDAQ上場



名証二部上場



2020年3月期 決算資料



◆ 決算報告 〈2020年3月期〉

ABホテル株式会社

www.ab-hotel.jp

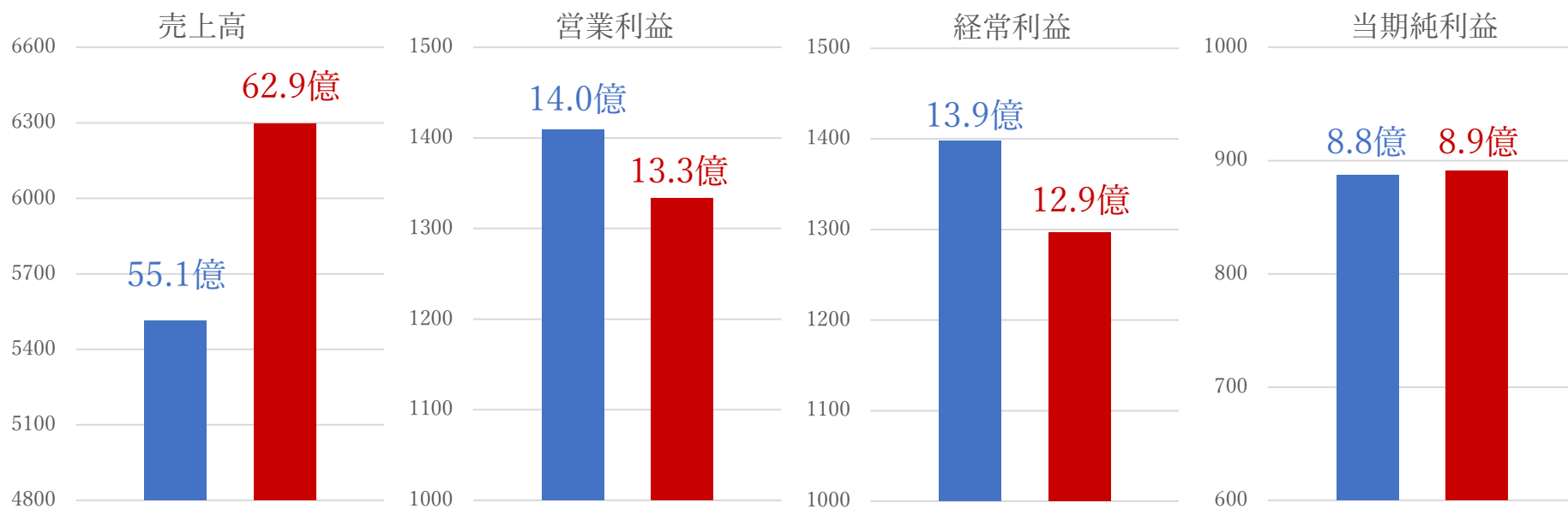
◀ 901~903
905~916 ▶
No smoking floor



会社名	A B ホテル株式会社
代表者名	代表取締役社長 沓名 一樹
本社所在地	愛知県安城市三河安城町一丁目 9 番地 2
資本金	953,920千円
設立日	2014年10月1日
決算期	3月決算
事業内容	ホテル事業
従業員数	32名（2020年4月1日現在）
発行済株式総数	14,176,000株（2020年3月現在）
株主数	1,172名（2020年3月現在）
証券コード	6565
上場市場	東京証券取引所 J A S D A Q（スタンダード） 名古屋証券取引所市場第二部

増収で、過去最高売上高を継続

売上高	6,295百万円	(前期比 781百万円増)	+14.2%
営業利益	1,333百万円	(前期比 76百万円減)	△5.4%
経常利益	1,297百万円	(前期比 100百万円減)	△7.2%
当期純利益	891百万円	(前期比 4百万円増)	+0.5%



福岡県、愛知県、大阪府、長野県にA Bホテル4店舗 新規開業

対前年数値

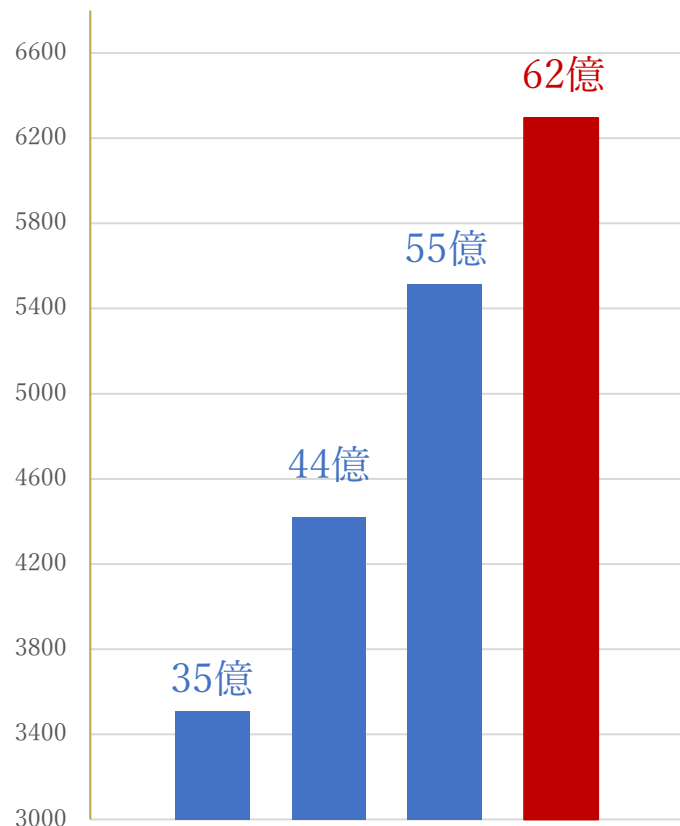
(単位：百万円)

	2019年3月期 (2018年4月～2019年3月)			2020年3月期 (2019年4月～2020年3月)			
	実績	売上比 (%)	前期比 (%)	実績	売上比 (%)	前期比 (%)	増減
売上高	5,514	100.0	124.8	6,295	100.0	114.2	+781
売上総利益	1,937	35.1	119.5	1,893	30.1	97.7	△44
販売費・一般管理費	528	9.6	123.3	560	8.9	106.1	+32
営業利益	1,409	25.6	118.2	1,333	21.2	94.6	△76
経常利益	1,398	25.4	122.0	1,297	20.6	92.8	△100
当期純利益	887	16.1	122.7	891	14.2	100.5	+4

売上の変動要因

(単位：百万円)

売上高



2020年3月期末27店舗 3,586室
 前期（年間） 既存18店舗稼働率 86.8%

当期既存18店舗稼働率 83.9%
 （前期比 2.9%減少も堅調に推移）

既存店稼働率の堅調な推移、準既存店の年間での稼働及び新店効果により増収

準既存店5店舗（2019年3月期開業）

・ A B ホテル京都四条堀川、東海太田川、近江八幡、宇部新川、田原

新店4店舗（2020年3月期開業）

・ A B ホテル行橋、蒲郡、大阪堺筋本町、塩尻

中期経営計画 最終年度

新型コロナウイルス（COVID-19）の影響により、宿泊業界に及ぼす影響が不透明であり、現時点においては業績予想が困難と判断しております。
合理的な算定が可能となり次第改めて発表いたします。

新規4店舗開業予定 合計515室程度増加（期末4,101室）

開業予定

A B ホテル堺東（大阪府堺市）128室

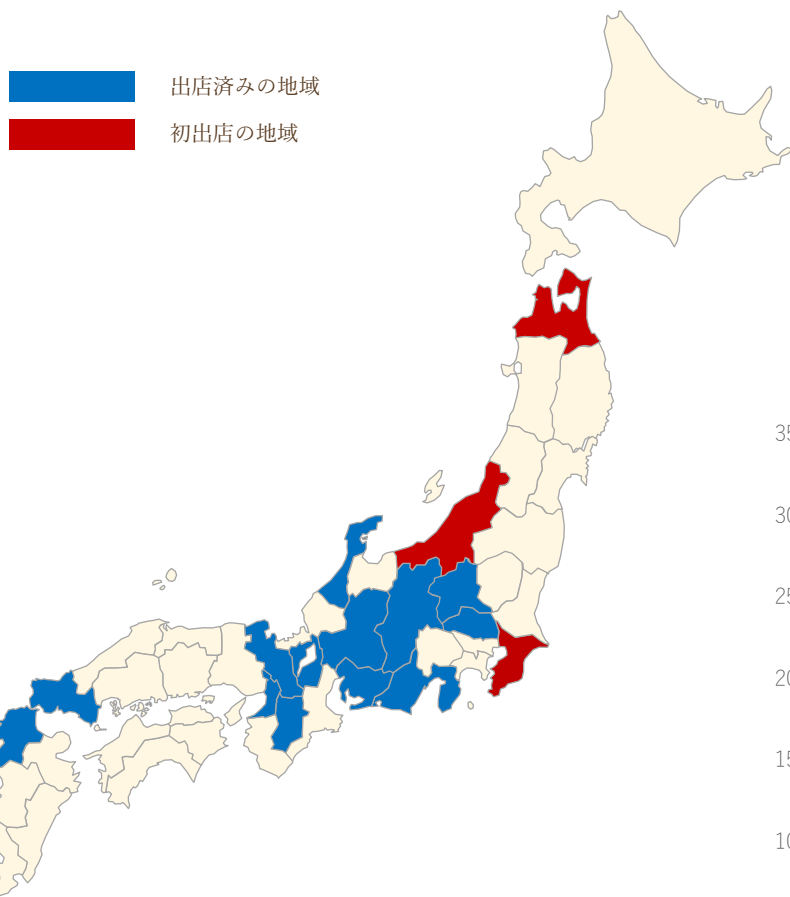
A B ホテル彦根（滋賀県彦根市）129室

A B ホテル可児（岐阜県可児市）129室

A B ホテル湖南（滋賀県湖南市）129室

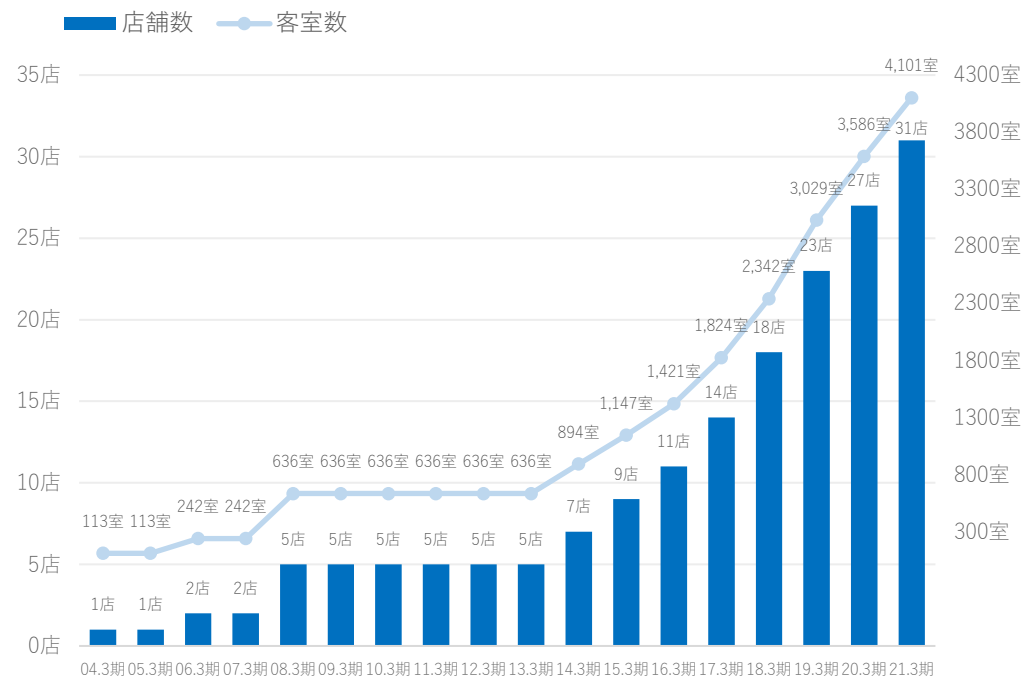
出店地域を絞らずに全国の駅前や主要インターチェンジ付近を中心に

出店



今後の新規出店予定 (リリース済)

A B ホテル堺東 (2020年7月開業予定)	A B ホテル可児 (2020年11月開業予定)
A B ホテル彦根 (2020年10月開業予定)	A B ホテル木更津 (2021年4月開業予定)
A B ホテル湖南 (2020年11月開業予定)	



※14年3期までは株式会社東祥のホテル事業部の数値を使用

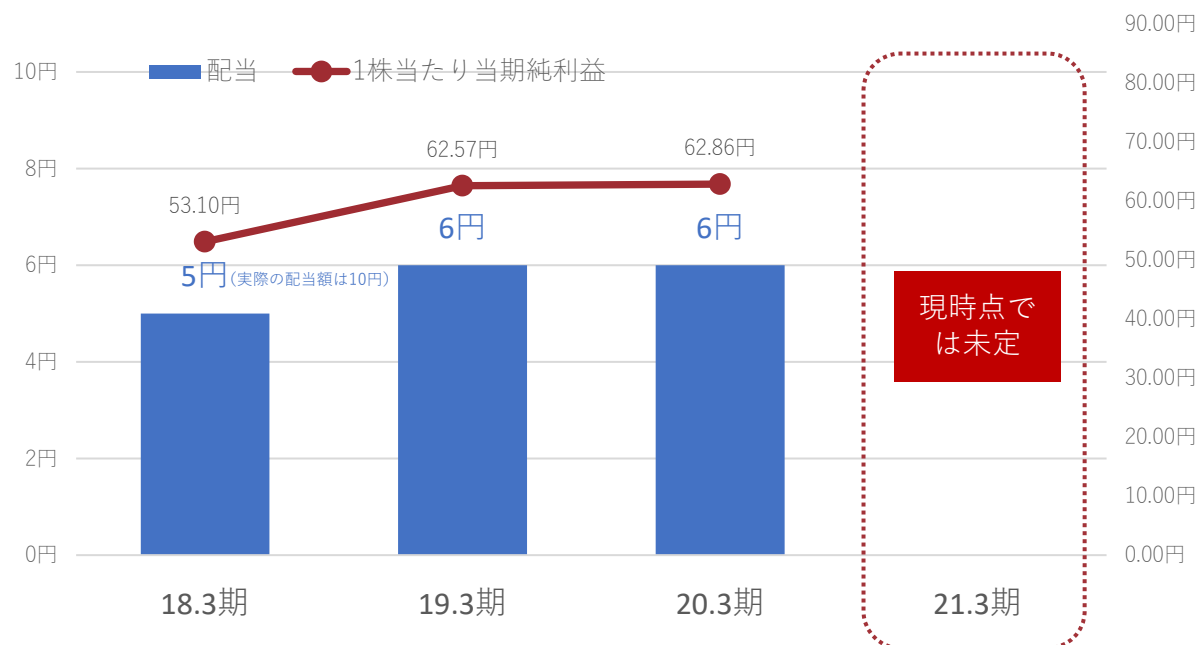
株主各位への安定かつ継続した配当を行うことを経営の最重要課題のひとつとして考え、企業体質の強化に備えた内部留保の充実、業績、ROE等を総合的に勘案して決定

利益に連動した配当政策

2020年3月期
年間配当6円



2021年3月期
新型コロナウイルスの影響により
現時点では未定



※株式分割が2018年3月期の期首に行われたと仮定して算出